## 被告人国選弁護報告書①【裁判員裁判事件】(書式4-8① 2019.7月版)

弁護士 一般・スタッフ (登録番号 ) 提出日 年 月
-----------------------------

	氏 名		裁判所名      地方·簡										
被告人	事件番号	年( )第 号	選任日	年 月 日									
	調整	□被疑者国選段階から担当	起訴日	年 月 日									
	罪名(罰条)			※特別法犯については罰条を記載									
合	議体の構成	□3:6型(裁判官3人·裁判員6人) □1:4型(裁判官1人·裁判員4人)											
国選	弁護人の選任数	□当該事件の主任弁護人に定められた(途中交代した場合を含む。)											
追起訴・訴因変更 (追起訴状等があれ ば、写しを添付)		① □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
		② □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
		③ □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
		※4件目以降は下段(継続記入欄)へ記載。											
		(判決日) 年 月 日	(□判決日に	ついて弁護人は不出頭)									
		認定罪名 □公訴事実と同一	□別罪→罪名(	)									
判決日判決主	¥Ⅱ沖.日•	□懲役 年 月 □禁錮 年	月 口罰金	万円 口その他( )									
	判決主文	□死刑 □無期懲役 □無罪(全部) □無罪(一部)											
		□全部執行猶予 年 □保護観察	□未決算入日数	数 日 □没収 □追徴 □科料									
		□一部執行猶予 上記懲役のうち( )年( )月について( )年間執行猶予											
글드 <i>글/</i> !	連甲各担の町												
計記		□費用負担あり ※費用負担の裁判があった場合はチェック。チェックがない場合は、負担なしとみなす。											
	公判等	別紙「 <b>被告人国選弁護報告書②【裁判員事件】(書式4-8②)</b> 」へ記載。											
!	特別加算	特別成果等各種加算請求がある場合は、別紙「 <b>被告人国選報告書2(書式4-4②)</b> 」に従って記載。											
	費用	各種費用請求がある場合は、別紙「被信	<b>告人国選報告書</b> 2	2( <b>書式4-4②)</b> 」に従って記載。									
その他		□事件記録の閲覧及び謄写をすることなく、第1	回公判期日に立ち会	った。									
		□第1回公判期日の前日までに、被告人と接見、電話交通及び打合せを行わなかった。(□ただし、接見等の申入れを行った)											
#	削決宣告以外に よる終了	□有 ※解任など、判決宣告以外の事由に	より終了した場合は	、「 <b>被告人国選弁護報告書2</b> 」へ記載。									
		④ □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
		⑤ □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
	訴·訴因変更 継続記入欄)	⑥ □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
		⑦ □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
		⑧ □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
		⑨ □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									
		⑩ □追起訴 □訴因変更 年(	)第 号	罪名(罰条)									

※なお、ご記入いただきました個人情報は、日本司法支援センターにおいて管理し、日本司法支援センターにおける国選弁護関連業務に使用する他、総合法律支援法・同施行規則及び契約約款に基づき、日弁連、所属弁護士会、関係機関等に情報を提供することがあります。また、被疑者・被告人から請求があった場合、同様に情報提供する場合がありますので、予めご了承ください。

<sup>※</sup>報告書提出期間(請求可能日から土日祝日・12/29~1/3を除く14日)を確認し、提出期限に遅れないよう御留意ください。 提出が遅れた場合は、報酬等をお支払いできなくなることがあります。

弁護士 (登録番号 事件番号: 年( )第 号 被告人名: 【出頭した】公判前整理手続と刑訴規則178-15の打合せ 整  $\Box$ 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 理 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 手 続 【出頭していない】公判前整理手続と刑訴規則178-15の打合せ(途中から選任された場合を含む) 期 月 月 日 月 H 年 Н 年 月 H 年 H 年 月 Н 年 月 日 【出頭した】期日間整理手続(整理手続に付された日: 月 年 日) 等 年 月 月 年 月 H 年 月 月 日 年 日 年 月 H H 年 進行協議など 出頭日( ) 出頭時間( 出頭内容( 7 公判開始後の裁判官・検察官同席の打合せに限る。また、器具の取扱確認、書面提出のみ、電話打合せのみの場合は除く。 (注) 刑訴法226条・227条の証人尋問期日 左記期日の出頭日 続 期 証拠保全期日(証人尋問 / それ以外の証拠調べ「 ]) П 日 ) ) ( / 等 勾留理由開示期日 立会時間 注)参照 出頭日 備考 注)参照 公判内容 ※裁判員選任手続の立会は記載不要(基礎報酬に含まれる)。 ※終結後の裁判所主催の振り返り会は算定対象外(期目に該当しない)。 AM  $10:10 \sim 12:00$ 休廷(30)分うち注③(5)分 実質審理 注①開廷予定(10:00)~ 2019年 (☑ あり/□ なし) 例 (AM・PMに分けて記載する。昼休みは休廷時間に記載しない) 3月 9日 □ 判決宣告のみ PM  $13:00 \sim 16:45$ 休廷(50)分うち注③(0)分 注②(16:45)~(17:05) AM 休廷( )分うち注③( : )分 実質審理 注①開廷予定( : )~ 年 (□ あり/□ なし) 1 (AM·PMに分けて記載する。昼休みは休廷時間に記載しない) 月 日 □ 判決宣告のみ PM 注②( : )∼( : 休廷( )分うち注③( )分 AM休廷( )分うち注③( )分 実質審理 注①開廷予定( )~ 年 (□ あり/□ なし) 2 (AM·PMに分けて記載する。昼休みは休廷時間に記載しない) 月 日 □ 判決宣告のみ PΜ 休廷( )分うち注③( 注②( : )~( : )分 判 期 休廷( AM)分うち注③( )分 実質審理 注①開廷予定(: 日 年 (□ あり/□ なし) (AM・PMに分けて記載する。昼休みは休廷時間に記載しない) 月 日 □ 判決宣告のみ PM休廷( )分うち注③( )分 注②( : )∼( 休廷( )分うち注③( AM)分 実質審理 注①開廷予定( 年 (□ あり/□ なし) (AM・PMに分けて記載する。昼休みは休廷時間に記載しない) 4 月 日 □ 判決宣告のみ PM 休妊( )分うち注③( )分 注②( : )∼( : 休廷( ΑМ )分うち注(3)( )分 実質審理 注①開廷予定( 年 (□ あり/□ なし) 5 (AM・PMに分けて記載する。昼休みは休廷時間に記載しない) 月 日 □ 判決宣告のみ PM休廷( )分うち注③( 注2( ) ~ ( : )分

(注)次の事項については備考へ該当時間を記載。①開廷が遅れた(当初の開廷予定時刻)。②公判と同日に裁判官・検察官で進行協議を行った(協議 の立会時間)③休廷にあたって再開時間を明示しないなど、裁判所によって事実上在廷を命じられた場合は、該当時間を「立会時間」欄の該当箇所に記 載。

月

月

□有(評議の間、在廷を命じられた)

目

日

年

年

月

月

日

日

月

年

年

目 (

月

月

日

日

)分間在廷

年

年

期日:

期日:

選任前の期日(私選がついていた場合を含む)

不出頭目(相弁護人のみが出席など)

評議対応

弁護士 (登録番号 ) 事件番号: 年( )第 号 被告人名:

整	【出頭した】公判前整理手続と刑訴規則178-15の打合せ																		
理		年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	月	年	月	日
手続		年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	月	年	月	日
期		年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	目	年	月	日
日	[ ]	出頭して	ていた	ない】ク	〉判前	整理手	続と	刑訴規	則17	78-15 <i>0</i>	)打合も	せ(途	中から選任された場合			場合る	合を含む)		
等		年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	目	年	月	目	年	月	日
公判期日	出頭 日 ※裁判員選任手続の立				の立会	時間 注)参照 会は記載不要(基礎報酬に含まれる)。 振り返り会は算定対象外(期日に該当しない)。					備考 注)参照				公判内容				
	6		年	AM	: (AM•F	~ PMに分け <sup>-</sup>	: (記載 <sup>-</sup>	休する。昼休み	廷( *は休廷		ち注③( 載しない)	)分	注①問	開廷予定(	:	)~	実質 (□ あり <i>)</i>	〔審理 ∕□ な	:L)
			日	PM	:	~	:	休	廷(	)分うち	5注③(	)分	注②(	: )~	~( :	)	□判決	:宣告の	み
	7		年	AM	: (AM•F	~ PMに分け <sup>-</sup>	: で記載 <sup>~</sup>	休する。昼休み	廷( *は休廷	,,,,,	ち注③( 載しない)	)分	注①	開廷予定(	:	)~	実質 (□ あり <i>)</i>	〔審理 /□ な	:し)
		月	日	РМ	:	$\sim$	:	休	廷(	)分うち	5注③(	)分	注②(	: )~	~( :	)	□ 判決	:宣告の	み
	8	月	年	AM	: (AM•F	~ PMに分け <sup>-</sup>	: で記載 <sup>-</sup>	休する。昼休み	廷( yは休廷		ち注③( 載しない)	)分	注①[	開廷予定(	:	)~	実質 (□ あり <i>)</i>	〔審理 ∕□ な	:し)
			日	РМ	:	~	:	休	廷(	)分うち	5注③(	)分	注②(	: )	~( :	)	□判決	:宣告の	み
	9		年	AM	: (AM•F	~ Mに分け <sup>-</sup>	・ 記載・	大まる。 昼休み	廷( *は休廷		ち注③(	)分	注①[	開廷予定(	:	)~	実質 (□ あり,	〔審理 /□ な	:し)
		月	E I	РМ	:	~	:		廷(	)分うち		)分	注②(	: )-	~( :	)	□ 判決	:宣告の	み
	10		年	AM	: (AM•E	~ PMに分け	: で記載・	休 する。 昼休み	廷(		ち注③(	)分	注①問	開廷予定(	:	)~	実質 (	〔審理 ∕□ な	:し)
	10	月	日	РМ	:	~	:		廷(		5注③(	)分	注②(	: ) ^	~( :	)	□ 判決	:宣告の	み
	1.1		年	AM	:	~	:		廷(		ち注③(	)分	注①[	開廷予定(	: :	)~	実質 (□ あり,	〔審理 /□ な	:し)
	11	月	月日	РМ	(AM•F	Mに分け、 ~	(記載)	する。昼休み	廷(		載しない) 5注③(	)分	注②(	: )	~( :	)	□ 判決	:宣告の	み
	12	月	年日	AM	; (AM.F	~ OM/ア公パ-	で記載し	休まる。昼休み	廷(		ち注③(	)分	注①[	開廷予定(	:	)~	実質 (	〔審理 /□ な	こし)
	12			РМ	(AWI*F	wi(cガ()	: 記載		廷(		************************************	)分	注②(	: ) ~	~( :	)	□ 判決	:宣告の	み
	選	選任前の期日(私選がついていた場合を含む)						期日: _	年	月	且、	年	. 月	且	、年	. J	且		
	不出頭日(相弁護人のみが出席など)						期日: _	年	月	且、.	年	月	<u>月</u>	、 <u></u> 年	· J	日			
	評議対応						□有(評議の間、在廷を命じられた) 月 日 ( )分間在廷												

(注)次の事項については備考へ該当時間を記載。①開廷が遅れた(当初の開廷予定時刻)。②公判と同日に裁判官・検察官で進行協議を行った(協議の立会時間)。③休廷にあたって再開時間を明示しないなど、裁判所によって事実上在廷を命じられた場合は、該当時間を「立会時間」欄の該当箇所に記載。

被告人国選弁護報告書 2 【第一審·裁判員共通(即決事件以外)】 (書式4-4② 2019.7月版)

弁護士			一般 ・ スタッ	フ(登録番	<b>音号</b>	)		提出日	年	月	且
_	事件番号:	年(	)第	号	被告人	名:					
Ē	重大案件	□重大案件	※故意の犯罪行	為により被害者	者を死亡させた!	罪で死亡被害	者2名以」	上+整理手続に付	された事件に	に選任	
#	寺別案件	□特別案件	※刑訴法第38条	の3第1項第5	5号の規定に基	- づいて国選弁	護人が解	任された事件に	<del></del> 選任		
,	^ + 401+	□検察官との	間で合意制度	について協	協議を行った。	(要疎明賞	資料添付	.)			
É	合意制度	□検察官との	間で上記協議	について合	意が成立し	 た。(要疎り	月資料添	:付)			
	無罪等	詳細は別紙「	特別成果加算	(無罪等)請	<b>请求書」</b> に記記	載(要疎明	資料添	付)			
	示談等	詳細は別紙 <b>「特別成果加算(示談等)請求書」</b> に記載(要疎明資料添作									
			の活動として、ど iするものにチョ				た結果、	被告人が釈放	<del></del>		
J	<b>身柄釈放</b>	□勾留決定	官に対する準抗	告又は抗告	告の申立てを	行い、勾留	?決定が!	取消され、被令	与人が釈放	女された。	0
	3 113/0/00/2	□勾留取消	肖しの申立てを	行い、勾留	が取消され、	被告人が釈	沢放され	た。			
		□保釈請求	ドを行い、保釈	許可決定を	受け、被告)	くが釈放され	れた。				
		請求•申立日	日: 年 /	月 日	釈放日:	年 月	日	(要「裁判書謄	≰の写し」添	付)	
遠距	離接見等・出張	詳細は別紙「	旅費等請求書	こに記載							
月	誊写費用	詳細は別紙「	謄写料請求書	』に記載							
通	訳人費用	詳細は別紙「	通訳料請求書	· <b>」</b> の通り					-		
訴詞	<b>公準備費用</b>	詳細は別紙「訴訟・審判準備費用請求書」に記載(要疎明資料添付)									
による終了判決宣告以外	<ul><li>※右の項目の 事由に、</li><li>終了日</li><li>年</li></ul>	チェック。	□ 法5条•8第	条併合に伴う	訴法第38条€ 分解任→移送 式裁判請求€	後の引き網		)号 : □あり □た	ZL .		
			報告書1の該当								
			·・ 追起訴目(				ても、記録	を十分に検討	討した。	***************************************	
上記			選任後、実質公 続に付す旨の治			ガロのみ)					
の場			動があればチェ			、活動なしと	:みなす。	注)1枚目から	)謄写料の記	清求可。	
合			、電話交通又は								
の終了時期兄	<ul><li>2記</li></ul>	記録の閲覧又は謄写を行った。									
	<ul><li>3記</li></ul>	録の閲覧又は	は謄写を行った	上、記録を-	十分検討した	<u>-</u> 0					
	□ ④被	きとの接見	、電話交通又は	は打合せを	行い、かつ記	温録の閲覧	又は謄写	を行った。			
及び			」、電話交通又(	は打合せを	行い、かつ記	2録の閲覧	又は謄写	を行った上、	記録を十	分検討し	した。
活動	<b>※</b> (	③·⑤にチェッ:									
25/J			分についても、		-						
	<b>*</b> (		ックした場合、グ				‡‡; 水川≒⊑	~の辛日書	学の担 山戸	ァレびナッ	z
	Ī	山 夫际に	は接見又は打合	コピをピり、	、これりが甲	ハれい、又は	、秋刊川	* **ツ思兄音	チツ佐田に	_こと よる	٥رد

※なお、ご記入いただきました個人情報は、日本司法支援センターにおいて管理し、日本司法支援センターにおける国選弁護関連業務に使用する他、総合法律支援法・同施行規則及び契約約款に基づき、日弁連、所属弁護士会、関係機関等に情報を提供することがあります。また、被疑者・被告人から請求があった場合、同様に情報提供する場合がありますので、予めご了承ください。